

令和元年7月6日（土）開催

日本発達障害ネットワーク北海道 第14回年次大会

「合理的配慮・・・折り合いをつけて無理しないこと」

JDD ネットワーク北海道の年次大会、今年度のテーマは「合理的配慮」です。これは現在の、そして今後の障害児者支援を考えていく上での最も中核的なキーワードです。その一方で、この言葉、よく知られてはいるけれど、それが本当に意味することはなんなのか、よくわからないといった声も聴きます。「合理的配慮」という言葉は、それを懸命に考えることで対立を生むものではなくて、むしろ、この言葉を巡ってかかわりあう人たちがみんなが、ホッとした気持ちで、折り合えていける接合点を見つけて、明日に向けて支援の協働を作っていくためのものだと考えていきたいと思います。支援は一方的に与えられるものでも、求めるだけのものでもなくて、その支援を活かしていくためには「合理的配慮」を巡ってかかわり合う人たちの弛まぬ協働が、信頼に裏打ちされた一種の緊張感が必要なのかもしれません。合理的配慮・・・この機会にもう一度みんなで考えてみませんか？



1. 開催日時 2019年7月6日（土） 9：30受付 10：00～12：00

2. 会場 北海道大学（札幌市中央区北10条西7丁目）

北海道大学文系共同教育研究棟W棟軍艦講堂 2番教室

3. 参加定員及び参加対象 150人

一般道民、当事者・家族、行政、教育、福祉、医療、研究者、企業・雇用等支援機関関係者など

4. 参加費（資料代） 1000円（当日受付にてお支払い下さい）

5. 主催 JDDnet 北海道・下記の JDDnet 北海道参加団体

（親の会）

北海道自閉症協会、「ドンマイの会」、アスペルガー基地みらい、
特定非営利法人北海道学習障害児・者親の会クローバー、旭川LD親の会「ぶりすむ」、
小樽後志LD・発達障がい児者親の会「ぼてとの会」、室蘭LDを考える会「ダビンチの会」、
NPO 法人ことばを育てる親の会北海道協議会、

（職能団体・研究団体）

北海道臨床心理士会、日本自閉症スペクトラム学会北海道支部
S.E.N.S（特別支援教育士の会）北海道支部会、日本臨床発達心理士会北海道支部
北海道感覚統合研究会、（公益社団法人）北海道作業療法士会
発達障害者支援センターあおいそら、札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる
北海道発達障害者支援道北地域センターきたのまち、北海道発達障害者支援道東地域センターきら星

6. 共催 北海道大学大学院教育学研究院 特殊教育・臨床心理学教室（安達研究室）

7. 後援（申請中）

北海道、北海道教育委員会、北海道発達障害支援センターあおいそら、発達障害者支援地域センター（きたのまち・きら星）、札幌市自閉症者自立支援センター、札幌市自閉症・発がい障害支援センター、JDD ネット

8. 参加申し込み方法（JDDnet 北海道のホームページ URL:<https://jddnet.link/>参照）

参加希望の方は ①氏名、②所属（勤務先または当事者さんとの続柄）、③連絡先（住所、電話番号）、④参加するプログラム（「午前と午後の両方」「午前のみ」「午後のみ」のいずれか）を明記の上、FAX（011-706-3105）または、メール（jddhokkai@yahoo.co.jp）により申し込みをお願いします。＊定員に達し次第締め切りさせていただきます。

9. 当日の日程（予定）

※主催者あいさつ（室橋 春光氏 JDDネット北海道代表）

5分

- 1 導入のお話し 10:05～10:20 （話者：安達 潤 JDDネット北海道常任理事）
- 2 3人から話題提供 10:20～11:05 当事者、家族、支援者
- 3 参加者で話し合おう 11:05～12:00 （進行：松井典彦 JDDネット北海道常任理事）

※主催者あいさつ（未定 JDDネット北海道理事）

12:05 終了

お知らせ！！

午後、同じ会場で、北大教育学研究院 特殊教育・臨床心理学教室（安達研究室）主催（JDDネット北海道 共催）による発達障害支援の企画（「合理的配慮・・・それぞれのライフステージで語り会おう」）があります。午後企画は13:05開始で、16:00に終了となります。是非、ご参加下さい！